

- Staphylinidae: Pselaphinae). *Memoirs on Entomology, International*, Vol. 15, viii + 560 pp.
- Cheng, L. (Ed.), 1976. *Marine insects*. North-Holland Publishing Company, Amsterdam, 581 pp.
- Hall, W. E., 2005. 11.2 Ptiliidae. Pp. 251–261, in: Beutel, R. G. & R. A. B. Leschen eds., *Handbook of Zoology, Volume IV, Arthropoda: Insecta, Part 38, Coleoptera, Beetles, Vol. 1, Morphology and Systematics (Archostemata, Adephaga, Myxophaga, Polyphaga partim)*. De Gruyter, Berlin / New York.
- 平野幸彦, 2006. 甲虫類. Pp. 343–367, 高桑正敏・勝山輝男・木場英久編, 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006, 神奈川県立生命の星・地球博物館.
- Jeannel, R., 1953. Les Pselaphides de Madagascar. *Mémoires de l'Institut Scientifique de Madagascar Série E: Entomologie*, 4: 151–344.
- 加藤 真, 2010. 生命は細部に宿りたもう ミクロハビタットの 小宇宙. 134+x pp., 岩波書店.
- Kato, M., A. Kawakita, and T. Kato, 2010. Colonization to aquifers and adaptations to subterranean interstitial life by a water beetle clade (Noteridae) with description of a new *Phreatodytes* species. *Zoological Science*, 27: 717–722.
- 河上康子・林 成多, 2007. 日本海沿岸の海岸性甲虫類の研究 (2) 島根半島. ホシザキグリーン財団研究報告, (10): 37–76.
- 野村周平, 2010. 石垣島で中瀬式ライトトラップ (NLT) によって採集されたアリヅカムシ. 甲虫ニュース, (172): 1–6.
- Reitter, E., 1881. Versuch einer systematischen Eintheilung der Clavigeriden und Pselaphiden. *Verhandlungen des Naturforschenden Vereines in Brünn*, 20: 177–211.
- Reitter, E., 1885. Abbildungen und Bemerkungen zu wenig gekannten Pselaphiden-Gattungen mit Beschreibungen neuer Arten. *Deutsche Entomologische Zeitschrift*, 29: 333–339.
- Sawada, K., 1971. Aleocharinae (Staphylinidae, Coleoptera) from the intertidal zone of Japan. *Publications of the Seto Marine Biological Laboratory*, (19): 81–110.
- Sawada, K., 1992. New genus and species of intertidal Brachyglutini (Coleoptera, Pselaphidae) from Japan. *Raffles Bulletin of Zoology*, 40(1): 55–60.
- 多比良嘉晃・松本雅道, 2000. 静岡県における海岸性甲虫相. 環境システム研究, (7): 39–71.

(2012年4月18日受領, 2012年5月21日受理)

【短報】ヒラタカクヒメエンマムシの一採集例

ヒラタカクヒメエンマムシ *Margarinotus (Kurilister) kurbatovi* (Tishechkin, 1992) は国後島をタイプ産地とし, ほかに北海道, 本州, 四国から分布が知られる採集例の少ないエンマムシである (Ôhara, 1993).

生態情報も少なく, Tishechkin (1992) は, 正模式標本の雄個体が得られた状況について, 朽ち木を篩うか, 枯れ木の樹皮下から得られたとしながらも, 採集者の S. Kurbatov 氏はそれ以上のことを記憶していないと但し書きを添えている。また,

平野 (1994) はブナの朽ち木に生えたキノコ (または樹皮下) から採集したことを報じ, 大原ら (2011) は, 北海道でトランクウィンドウトラップを実施して本種を複数採集するとともに, 鳥類や哺乳類などの巣に依存する種ではないかと推定している。

筆者は東京都奥多摩町において本種をやや特殊な状況下で採集しているので報告する。

2exs., 東京都西多摩郡奥多摩町日原一石山～人形山 (標高 1,000–1,100 m), 4. V. 2007.

周辺環境はブナ, ミズナラを主体とした森林で, 2 個体ともクサアリの一種 *Lasius (Dendrolasius)*

sp. が営巣したミズナラ大径木の根元でアリの巣入り口付近から採集した。そのため, 同時に得られた職アリを別台紙に貼付け, 本種標本と同じ針に刺したかたちで筆者が保管している。東京都初記録にあたる。

過去の採集状況とはやや異なるが, 朽ち木または木の枯死部に関係している点は共通している。このアリの巣からは, 多くの好犠性ハネカクシが得られた以外に, セスジウムシ *Omoglymmius crassiusculus* (Lewis, 1888) といった, アリとの親和性は認めがたい朽ち木性の甲虫 (この場合, 変形菌食者といったほうがより正確) も確認しており, 本種を好犠性種とにわかに断定できるものではない。むしろ, 甲虫のなかでも硬い体表構造をもつエンマムシ科が, 一般論として, アリからの攻撃を被りにくいことの一観察例にすぎないかもしれない。

この巣にはその後も注目していたが, 追加個体は得られなかった。後日, このアリの巣から 20 m ほど離れた場所を飛翔中の個体を採集しているので, 合わせて記録しておく。

1ex., 同地, 5. VI. 2007, 筆者保管。

末筆ながら, 本種の生態情報について種々ご教示をくださった大原昌宏博士 (北海道大学総合博物館) に深謝したい。

引用文献

平野幸彦, 1994. ヒラタカクヒメエンマムシをブナより得る。



図1. ヒラタカクヒメエンマムシ (奥多摩町産)。

月刊むし, (276): 39.

Ôhara, M., 1993. Notes on the family Histeridae from eastern Hokkaido. *Memoirs of the National Science Museum*, (26): 1025-1150.

大原昌宏・上田明良・尾崎研一・佐山勝彦, 2011. トランク ウィンドウトラップで採集されたエンマムシ類. さやば ねニューシリーズ, (3): 8-12.

Tishechkin, A. K., 1992. Two new species of Histeridae (Coleoptera) from Palaearctic Asia. *Elytron*, Barcelona, (5[for 1991]): 325-329.

(亀澤 洋 350-0825 川越市月吉町 32-17)

【短報】フトミツギリゾウムシの日本からの追加記録

フトミツギリゾウムシ *Prophthalmus wichmanni* Kleine, 1916 (ミツギリゾウムシ科) は, ♂の後頭部から口吻端までが太長く, 複眼が小さいという非常に特徴的な頭部形態を持つ種であり, インド(アッサム, ダージリン) およびラオス, ベトナム, マレーシア, 中国南部, 台湾, 日本(石垣島) に分布することが知られている (Morimoto & Kojima, 2005). 本種の詳しい生態は未だ不明である. Sforzi & Bartolozzi (2004) は, Kabakov (2001) に基づいて *Terminalia* sp. (シクンシ科) と *Ficus* sp. (クワ科), *Trema* sp. (ニレ科), *Citrus* sp. (ミカン科) を本種の寄主植物としてリストアップしているが, 原典に当たると, 単に成虫がこれらの樹種の枯木上で発見されたというだけの知見に過

ぎず, これを寄主記録とみなすのは無理があることが分かる.

フトミツギリゾウムシは, 日本では極めて稀な種であり, 今のところ Morimoto & Kojima (2005) が日本初記録として報じた石垣島米原からの1♀しか知られていない. 筆者らは, 石垣島産の2個体の標本を検査する機会に恵まれた. 大変貴重な採集例であると考えられるので, ここに報告する.

1♂ (図1), 沖縄県石垣島嵩田林道, 31. III. 1992, 栗原珪一採集 (農環研所蔵昆虫標本番号 24-0475214; 森本桂同定確認); 1♀ (図2), 沖縄県石垣島屋良部林道, 2. IV. 2003, 土岐和多瑠採集 (農環研所蔵昆虫標本番号 24-0475215).

嵩田林道で採集された1♂は小型個体で, 森本 (2008) によって図示された大型個体とは一見別種かと思ってしまうほど頭部形態が異なっているが, 森本博士に同定を確認していただいたところ, やはり本種であるとのことであった. なお, この個体の採集状況は不明である. 屋良部林道で採集された1♀は, 広葉樹の枯枝に巻きついた蔓性植物の花をスウィーピングした際に得られたものである. 先行記録の採集データと合わせて考えると, 石垣島においては, 少なくとも3月下旬から5月上旬にかけて本種の成虫が発生していることが分かる.

末筆ながら, 貴重な標本をご提供下さった栗原隆博士 (栃木県立博物館) と同定の労を賜った森本桂博士 (九州大学名誉教授) に厚くお礼申し上げます.

引用文献

- Kabakov, O. N., 2001. Fauna and ecology of the Brentidae of Vietnam and adjacent territories of South China, Laos, and Thailand (Coleoptera, Curculionoidea). *Zoosyst. Rossica*, 9: 205-222.
- Kleine, R. 1916. Die Gattung *Prophthalmus* Lac. und ihr Verwandtschaftskreis. *Stett. ent. Ztg.*, 77: 217-286, Taf. 8-9.
- 森本 桂, 2008. ミツギリゾウムシ科研究入門 (1) — 概説と日本産の種 —. 月刊むし, (443): 4-16.
- Morimoto, K. & H. Kojima, 2005. Three additional species of Brentidae (Coleoptera, Curculionoidea) to the fauna of Japan. *Elytra*, Tokyo, 33: 126-133.
- Sforzi, A. & L. Bartolozzi (eds.), 2004. Brentidae of the World (Coleoptera, Curculionoidea). *Monogr. 39. Mus. Reg. Sci. nat.*, Torino. 974 pp.

(吉武 啓 305-8604 つくば市観音台 3-1-3
(独) 農業環境技術研究所
(土岐和多瑠 124-0001 葛飾区小菅 1-36-2-1003)



図1-2. フトミツギリゾウムシ, 石垣島産. 1: 小型雄; 2: 大型雌.